

産所を設置し極力失業海員の救済に當つたのである。

しかも五年十二月末三千四百四十七名を算した失業海員数は六年春期に入りて更に増大し、到底組合独自の力をもつてしては救済事業を經營することの至難なるを痛感したので、政府に對して國庫支出による救済資金の支給を得べく猛運動を開始した。この結果本年度に於ては國庫より失業海員救済資金の補助を得て授産事業の規模を擴大し、延人員合計四十一萬九千四百六名の多數失業海員を救済した。(別項會計部報告参照)

組合は失業海員救済の爲、現在神戸、大阪、横濱、戸畑、名古屋、函館、小樽の七ヶ所に於て授産所を經營してゐるが、各授産所に於ける作業の重なる種類は、各種船舶用品の製作、加工、修繕等である。この作業に對して授産所より支給する額は各自の生活内容を考慮して一人一日八十錢乃至一圓十錢である。

其他報告

第四回海上メーデー開催

昭六年五月一日、本組合及海員協會、神戸海友同志會と共に開催、参加人員八百名、神戸港内を二周し更に、メリケン波止場より組合本部迄陸上デモを敢行し成功を収めた。

門司海員會館新築落成

門司市より一萬圓の寄附を受け組合より一萬二千圓を支出し、合計二萬二千圓の總工費を以つて、六年六月四日起工建築中

の門司海員會館は竣工し、六年十月四日落成式を舉行了た。

東京支部會館新築落成

六月十日起工建築中の東京支部會館は愈々竣工し六年十二月二十一日盛大なる落成式を舉行了た。

芝浦支部改稱

芝浦支部が政治文化の中心たる東京に所在し、益々重要性を加ふるに鑑み、本年度第三回評議員會の承認を経て東京支部と改稱した。

組合従業員移動

(新任)

四月廿四日	本部組織部員	宮本官治	四月廿四日	本部組織部員	森田郁雄
四月廿四日	本部組織部員	野澤精吾	四月廿四日	大阪支部組織部員	池上武雄
四月廿四日	大阪支部組織部員	百田利一	四月廿四日	本部事務員助手	熊澤豊壽
六月一日	芝浦支部組織部員	灘幸一	六月十四日	戸畑支部組織部員	平井照夫
八月廿五日	本部事務員助手	佐野一雄	九月十日	小樽支部事務員助手	上田秀男
一月十三日	本部會計部員	白根要一			

(異動)

(新任)

(前任)

八月十五日 芝浦支部長 名古屋支部長 横山 孫作